

平成30年度版 改善計画

学校名：北杜市立明野小学校

No.	項目	現状と課題	H30年度に目指すべき状態	①H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・資料の事前配付や開始・終了時間の設定など効率的な会議を目指しているが議題や資料が多く時間がかかる。	情報共有の仕方をペーパーレス化することを検討し整備していく。会議のルールづくり。	①グループウェアを取り入れた連絡情報共有システムを整備する。朝礼の回数の削減(メールや掲示板の利用)。ペーパーレス会議のやり方の共有。 ②ペーパーレス化した会議を実施していく。	
2	学校行事の負担軽減	・行事を教科内容と関連付けて実施するように見直しをしているが十分ではない。さらにスリム化をはかる。	スリム化と同時に、提案や準備を早めに行い計画にゆとりを持った取組となるようにする。	①教科と関連付けた再編をさらに進める。実施直後に評価し次年度の方向性を確認。次年度の行事について見通せるようにする。 ②行事の数または取組時間の1割削減。	
3	校内組織の見直し	・各種委員会の数を改正や校務分掌の再編 ・統合が必要。	・業務内容を分析しながら分掌を適正に配当し校務分掌の見直しを進める。	①学級数が減じていることを受け、各種委員会を統合し、負担軽減を図る。 ②校務分掌を見直し、組織の最適化を図る。必要最低限の校務分掌を目指す。	
4	業務の効率化	・資料作成に時間がかかる。口頭ですむこと、掲示ですむことなど見直しが必要。	会議資料を減らす方向で見直しをかける。	①共有化している電子データを業務改善の視点を取り入れて作成する。管理職による勤務時間の管理と指導。通信票、指導要録の電子化。 ②会議資料の削減に。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	・これまで取り組んできた原っぱ教育の継続的推進と授業実践で地域の方の力を活用したいところである。	これまで連携してきた人材バンクの整備と更新を行う。授業実践での協力を確保する。	①人材バンクの整備・更新。地域への除雪協力依頼、環境美化活動、交通安全の確保などへの協力依頼と連携の実現。 ②コミュニティ・スクールを前提とした組織作り。	
7	定時退校日の設定	・職員の退勤時間が遅くなりがちであり、定時退校の取組が必要。	業務量を軽減しつつ毎月定時退校日を設定し、徹底をはかる。	①月に2回定時退校日を設定し、17:00までには全職員が退校する。 ②勤務時間に対する教職員の意識を向上させる。	
8	校内研究のスリム化	・指導案検討に時間をかけ過ぎることなく授業実践から職員が学び合うことが必要。	指導案検討より、授業実践を検討し合い学び合う教職員となる。	①指導案検討の簡略化。授業実践からKJ方を利用した研究会で学び合う。 ②日常指導に校内研究の成果を生かす授業作り。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

